

ニュースポーツフェスティバル2008年inあいち 「ティーボール」規則

愛知県ティーボール連盟

大会運営事項

- ・ 審判は午前8時30分に球技場に集合し、打ち合わせを行う。
代表者は8時45分打ち合わせ会を行う。ともに本部にて行う。
- ・ プラカード、ゼッケンは主催者で用意する。
- ・ 対戦表の左が1塁側、右が3塁側とする。
- ・ グラウンド及び組み合わせは前日までに連盟役員による代理抽選を行い、当日会場にて発表する。

1. 施設と用具

塁間と外野フェンスまでの距離

塁間は16mとする。外野フェンスまで40m以上。

用具

ナガセケンコー11インチセット(11インチボール)バットはL・M・S使用自由・グローブ使用は自由。金属スパイクは禁止する。ヘルメットは使用しない。

バッターズサークル

本塁プレートの角を中心として、半径3mの円を描く。打者はこのサークル内で打撃を行う。

バッティングティー

バッティングティーは、本塁プレートの後方30cmに置く。

2. 競技者

競技者の数

登録選手は1チーム10人以上20人までとし、小学校4年生以下の子供と母親で構成する。
競技者(打者)は10人以上15人までとし、うち2~3人は母親とする。

守備者の数と守備位置

守備者は10人で、そのうち母親は2人までとする。母親は子供の前方で守備してはならない。
10名の守備者は、本塁手と、1塁手、2塁手、3塁手、第1遊撃手、第2遊撃手の5人の内野手と、4人の外野手に分かれる。外野手は、左翼手、第1中堅手、第2中堅手、右翼手に分かれる。

その他の選手は、エキストラヒッター【打つだけの選手】とする。

3. 守備者規程

本塁手は、打者が打撃をするまでは、バッターズサークルの外にいななければならない。

守備者は打者がボールを打つまで内野(塁間をむすぶ線内)へ入ってはならない。

4. 打撃規程

審判が「プレイ」と宣告した後、打者はバッティングティーに載ったボールを打つ

打撃時の軸足の移動は、1歩までとする。2歩以上動かした時は、打ち直しとしワンストライクが、加えられる。ツーストライク後に、これを行った時は、打者は三振である。

打者がボールを打たないで、ティーを打った時は、空振りでもワンストライクが加えられる。

ツーストライクからこれを行ったときは、打者は、三振である。

打者が打ったボールが、本塁プレートから3mの円の中にはボールがあるときは、ファウルとする。

ツーストライクからのファウルは、打者はアウトである。

バントやプッシュバントは、認められない。打者はファウルである。

バットの投げ捨ては注意。

5. 走塁規程

走者は打者が打った後、離塁する事が出来る。走者の離塁が早い時は走者はアウトになる。盗塁は認められない。

原則としてスライディングは禁止する。(行うと走者はアウト)ただし、野手との接触を避ける為ならよい。走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。(走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意思がない場合には、野手にタッチされてもアウトにならない)

6. 試合

1リーグ4チームの総当たり戦を行う。各リーグの1位のチームにトロフィーと賞状を与える。

2チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、規程の回数(3イニング)を終えたとき得点の多いチームが勝者となる。(残塁の走者は残さない。)

試合の規程回数は3回とする。

リーグ戦の成績は勝ち点制とし、勝ち点と同じ場合は直接対決で勝っているチームを上位とし、直接対決で決まらない場合は失点の少ない方を上位とする。失点も同じ場合は抽選とする。「勝ち」は2点、「負け」は0点、「同点」は1点とする。

球審によって「プレイボール」が宣告されると、試合は開始される。

インフィールドフライのルールは適用しない。

試合は全員打撃で行い、対戦チーム同士の選手の数が異なる場合は多いほうの人数に合わせる。この場合、複数打席に入るのは子供に限る。

7. 試合時間

試合時間は40分間とし時間を経過した後、新しいイニングに入らない。

8. 再出場

母親に限り、1試合のうち2名迄再出場を認める。子供の再出場は認めない。

選手の交代については監督(引率者)が審判に申し出る。

9. 得点

走者がその回終了までに、正しく1塁、2塁、3塁、本塁に触れた場合1点が記録される。

10. 得点係

得点が多く入るので、各チームで1名得点係を決めておくこと。イニング終了時に各コートの得点係りが数えた得点と一致するか確認する。

11. コーチャー

各チームは1塁、3塁にコーチャーを出すこと。子供に限る。

12. 背番号及びゼッケン

競技者(打者)は、試合前にあらかじめ打順どおりのゼッケンをつけること。

13. 審判員

審判員は、3人制で行う。3人は球審1と、塁審2(1.3塁)に分かれる。

球審は、打者の正面横に立つ。

塁審は、1塁手の後方、1塁のファウルライン上と、3塁の後方ファウルライン上に立つ。

球審と塁審、打者走者の進塁が一段落するか捕手が返球されたボールを捕球したその時「タイム」をかけ、次のプレイに移るように指示する。(尚、捕手が次のプレイを行った時はこの限りではない)

* その他の競技ルールは原則として日本ティーボール協会のオフィシャル・ルールによる。

* 下線部は変更になった点である。